入札公告

ロシア原子炉区画ブラスト・塗装施設建設協力事業

に関する事後評価業務

　「ロシア連邦において削減される核兵器の廃棄の支援に係る協力及びこの協力のための委員会の設置に関する日本国政府とロシア連邦政府との間の協定」に基づき、日露非核化協力委員会が実施したロシア原子炉区画ブラスト・塗装施設建設協力事業（以下「本事業」）に関する事後評価業務（以下「本業務」）を実施する者を以下の通り公募します。

　令和元年7月8日

日露非核化協力委員会技術事務局

事務局長　　新井　勉

1. 参加資格
	1. 法令による契約締結能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者でないこと。
	2. 国及び公的機関からの指名停止期間中でないこと。
	3. 令和1、2、3年度（「平成31、32、33年度」）競争参加資格（全省統一資格）において「役務の提供等」の「D」以上の等級に格付された競争参加資格を有する者であること。
	4. 本事業の計画及び実施に関与していないこと。
2. 業務履行期間　（予定）

令和元年8月下旬～令和2年2月下旬（6か月間）

1. 業務実施者の決定方法

　入札参加要件確認のため所定の書類を提出して頂き、要件を満たすと認められた者を対象とした一般競争入札（価格競争）によって本業務実施者を決定します。

1. 関心表明書の提出

上記1.（3）の「資格審査結果通知書（全省統一資格）の写し及び会社概要書（パンフレット等）を添付の上、社名、住所、連絡先、担当者名を記した関心表明書（自由形式）を下記の宛先に提出して下さい。

　提出期限：令和元年7月29日（月）　17時00分（必着）

　提出部数：　正1部、　写1部

　宛先：〒105-0003　東京都港区西新橋1-17-14

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西新橋エクセルアネックスビル5階

 日露非核化協力委員会技術事務局

電話番号：　03-3506-4981　（代）

FAX：　　　　03-3506-4983

1. 入札説明会の日時及び場所
	1. 日時

令和元年7月31日（水）　10時～

* 1. 場所

東京都港区西新橋1-17-4　　西新橋エクセルアネックスビル5階

日露非核化協力委員会技術事務局　会議室

1. 今後の予定

入札説明会　　　　　　　　　　　　：　令和元年7月31日（水）　10時～

入札参加申込書類の提出締切：　令和元年8月19日（月）　17時00分

入札参加資格の通知　　　　　　：　令和元年8月21日（水）

入札の執行　　　　　　　　　　　　：　令和元年8月26日（月）　11時00分

契約の締結　　　　　　　　　　　　：　令和元年8月下旬　（目途）

1. 業務の概要（予定）

　本業務の概要は以下の通りです。詳細は入札説明会で配布する入札説明書をご覧下さい。

* 1. 事業の背景
1. 冷戦終結後、ソ連時代に建造された250隻を超える退役原子力潜水艦の大半が使用済み核燃料を積んだまま北西ロシア及び極東に係留され続け、核軍縮・不拡散や環境保全の観点から懸念される状況にあった。2002年のカナナスキス・サミットにおいてG8諸国は「大量破壊兵器及び物質の拡散に対するG8グローバル・パートナーシップ」を発表、ロシアの退役原潜解体を最優先課題の一つに位置付けた。その一環として、日露非核化協力委員会は極東ロシア退役原潜解体協力事業「希望の星」による原潜6隻の解体、解体後海上に一時保管されている原子炉区画を長期にわたり安全に保管するための陸上保管施設（ラズボイニク湾）の稼働に必要な機材（浮きドック、タグボート、ジブクレーン）の供与を実施した。
2. 陸揚げされた原子炉区画を、長期間にわたり陸上で安全かつ安定的に保管するためには、下地処理及び防蝕塗装を施す必要がある。このためロシア政府は日本政府に対して塗装施設建設への協力を要請、日本政府は2012年6月要請の受け入れを決定し、同年9月「原子炉区画ブラスト・塗装施設建設協力」に関する実施取決めが署名された。これを受けて2013年2月に資金供与契約が署名され事業が開始された。本事業は当初2013年末の完了を予定したが、設計変更等により2014年4月末に完了した。
	1. 業務の目的

2014年4月に完了した本事業について、DAC評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）に基づき、ロシア側ニーズへの合致、目標の達成度、施設の稼働状況及び管理状況等を総合的に調査・評価し、提言及び教訓を含む事後評価報告書として取りまとめる。

事後評価報告書は、説明責任の観点から評価の根拠となるデータや引用文献を明示し、一般の読者を想定して分かりやすく、かつ説得力のある内容とする。

なお、同報告書と併せて提出する事後評価結果要約（和文・英文）は、技術事務局のウェブサイトを通して一般に公開する。

* 1. 業務実施に関連する専門分野

事業評価、造船・塗装設備

（詳細は入札説明会で説明します。）

* 1. 業務の流れ
1. 作業工程表・評価調査表・質問票の作成　（国内）
2. 現地調査の実施　（ロシア沿海州）
3. 事後評価報告書の作成　（国内）
4. 要約の作成　（国内）
	1. 主な成果品
5. 事後評価報告書　（和文）
6. 事後評価結果要約　（和文及び英文）
7. その他

当ウェブサイトにも本事業の詳細及び過去の事後評価業務に関する情報がありますので、適宜ご参照ください。

以上